



# 校報 ひたみちっ子

校 訓

「強く 賢く 美しく」  
浜坂南小学校第64号  
令和6年1月18日

## 1. 17は忘れない ～「阪神・淡路大震災」の起こった日

### 「阪神・淡路大震災」について～1. 17のつどい～

つい先日も「能登半島地震」＝石川県の方で大きな地震が起きましたが、ずっと以前に、私たちの住むこの兵庫県でも大きな地震が起きました。「阪神・淡路大震災」です。

1995年、今からちょうど29年前の1月17日、午前5時46分、私たちが住んでいるこの兵庫県のずっと南の方、神戸や西宮、淡路島の方で、震度7というとても大きな地震＝「阪神・淡路大震災」が起きました。

その結果、6434人もの多くの方が亡くなりました。



私たちは、この日のことを忘れないようにするために、

### 「1. 17＝阪神・淡路大震災が起こった日」

として、毎年「1. 17のつどい」を開いて地震で亡くなられた方々への黙とうをささげるとともに、地震の怖さや命の大切さを学ぶ機会をつくるようにしています。

全員で、黙とう…

1月17日(水)には、大地震が起こったという想定で「避難訓練」を実施した後、体育館で「1. 17のつどい」を開きました。今年も温泉小学校から、震災・学校支援チーム「EARTH (アース)」のメンバーの[ ]先生にお越しいただき、「阪神・淡路大震災」のことや、地震から命を守る方法などについて、くわしく教えていただきました。

### 先生のお話

今年の「1. 17」のテーマは、「ともに」です。「全国各地の人々とともにがんばっていきましょう!」「亡くなられた方の思いとともに生きていきましょう!」という気持ちが込められています。

### 震災・学校支援チーム

#### 「EARTH (アース)」

「EARTH(アース)」は、「阪神・淡路大震災」時に受けた全国各地からの支援に報いるために結成された、災害発生時に被災地の学校を支援する教職員の組織のこと。被災地支援とともに平時には県内外への講師活動等を行っている。



### <阪神・淡路大震災で

#### 被害を大きくしたものは？>

- ・直下型地震だったこと
- ・未耐震の家が多かったこと
- ・早朝に起きたこと

自助・・・自分の命は自分で守る

共助・・・お互いに協力して助け合う

公助・・・国・市町村などの援助

### <教訓を生かそう>

#### ① 地震に強い建物に！

耐震化、家具等の固定

#### ② 備えをしっかりと！

普段からの心構え、様々な想定の実訓練  
非常持出袋、ハザードマップの確認

#### ③ 地域とのつながりを強く！

共助の必要性、顔の見える関係づくり  
あいさつもつながりづくり

### <家族で話し合っておこう！>

- ・災害が起こった時にどこに避難するか？
- ・何をもって避難するか？
- ・家族の中でだれがどんな役割をするか？

### 今の自分にできること

- ① 被災地のことを忘れないこと
- ② 一日一日を大切に、一生懸命生きていくこと  
(命・家族の大切さ)
- ③ 災害の備えをしていくこと
- ④ 身近なところから自分にできる何かを探すこと

### <先生からのメッセージ>

「自分の命を守る責任者は自分自身」です。自助の力を鍛えましょう。

私たちは、「多くの人の命を守れる貴重な人材」です。共助の原動力としての自覚を持ちましょう。自分の命を守れるように、周りの人の命を守れるように…。できることを見つけて行動していきましょう。

先生から大切なことをたくさん学ばせていただきました。ありがとうございました。

最後に、震災から学んだ「きずな・支え合う心」「やさしさ・思いやり」の大切さを語り継いでいく歌＝「しあわせ運べるように」をみんなで歌い、一日一日を大切に生きていくことを誓い合いました。

「1. 17」について、ご家庭でも話をするような機会を持っていただければ幸いです。  
(校長)

### 歌「しあわせ運べるように」(作詞・作曲 白井 真 氏)

- 1 地しんにも負けない 強い心をもって  
亡くなった方がたの分も 毎日を大切に生きてゆこう  
傷ついた神戸を もとのすがたにもどそう  
支え合う心と明日へのきぼうをむねに  
☆ひびきわたればくたちの歌 うまれかわる神戸のまちに  
とどけたい私たちの歌 しあわせ運べるように
- 2 地しんにも負けない 強いきずなをつくり  
亡くなった方がたの分も 毎日を大切に生きてゆこう  
傷ついた神戸を もとのすがたにもどそう  
やさしい春の光のような未来をゆめみ  
(☆2回繰り返す)  
とどけたい私たちの歌 しあわせ運べるように